

《緊急時個別対応カード》

年 組

(男・女)さん

原因食物		エピペン・ 保管場所	
保護者 連絡先①	☎ ( )	内服薬 名称	
保護者 連絡先②	☎ ( )	搬送先 希望病院	☎ ( )

※搬送先は救急隊の判断となります。

◆救急搬送の受け入れ及びアレルギー症状の判断等に困った場合

<ホットラインへ連絡> 000-0000-0000

(慈恵医大第三病院)

5分以内に判断する

1. 緊急性が高いアレルギー症状はあるか?

全身

- ぐったり ( : )
- 意識もうろう ( : )
- 尿や便を漏らす ( : )
- 脈がふれにくいまたは不規則 ( : )
- 唇や爪が青白い ( : )

呼吸器

- のどや胸が締め付けられる ( : )
- 声がかすれる ( : )
- 犬が吠えるような咳 ( : )
- 息がしにくい ( : )
- 持続する強い咳き込み ( : )
- ゼーゼーする呼吸 ( : )

消化器

- 持続する強い(がまんできない)お腹の痛み ( : )
- 繰り返し吐き続ける ( : )

なし

2へ

1つでもあてはまる場合

① ただちにエピペン®を使用 ( : )

※内服薬を飲んだ後にエピペン®を使用しても問題ない

② 救急車を要請する(119番通報) ( : )

③ その場で安静を保つ

(動かさない 仰向け 顔は横向き 足を上げる)

④ その場で救急隊を待つ

⑤ 可能なら内服薬を飲ませる ( : )



応答・呼吸が無い場合

- ・心臓マッサージ  
(1分間に100~120回)
- ・AEDの措置
- ※救急隊に引き継ぐまで継続する

ただちに救急車で医療機関へ搬送(説明できる人が随行)

※症状は急激に変化することがあるため、5分ごとに「1」「2」「3」の症状があるか、注意深く観察する!

2. 下記の症状が1つでもあてはまるか?

なし

- 呼吸器  数回の軽い咳 ( : )
- 消化器  中等度のお腹の痛み ( : )
- 1~2回のおう吐 ( : )
- 1~2回の下痢 ( : )
- 目・口・鼻・顔面  顔全体の腫れ ( : )
- まぶたの腫れ ( : )
- 皮膚  強いかゆみ ( : )
- 全身に広がるじんま疹 ( : )
- 全身が真っ赤 ( : )

1つでもあてはまる場合

3. 下記の症状が1つでもあてはまるか?

- 消化器  軽いお腹の痛み ( : ) (がまんできる)
- 吐き気 ( : )
- 目・口・鼻・顔面  目のかゆみ、充血 ( : )
- 口の中の違和感 ( : )
- 唇の腫れ ( : )
- くしゃみ・鼻水・鼻づまり ( : )
- 皮膚  軽度のかゆみ ( : )
- 数個のじんま疹 ( : )
- 部分的な赤み ( : )

1つでもあてはまる場合

① 内服薬を飲ませ、エピペン<sup>®</sup>を準備する ( : )

② 速やかに医療機関を受診する (救急車の要請も考慮)

医療機関に到着するまで、5分ごとに症状の変化を観察し、「1」の症状が1つでもあてはまる場合、エピペン<sup>®</sup>を使用する。

速やかに医療機関を受診

① 内服薬を飲ませる ( : )

② 少なくとも5分ごとに症状の変化を観察。一時間程度経過し、症状の改善がみられない場合は医療機関を受診する。

③ 容態が進行し、「1」または「2」の症状にあてはまる場合は、それに合わせた対応をする。

安静にし、注意深く経過観察

安静を保つ体位

ぐったり、意識もうろうの場合



血圧が低下しているおそれがあるため、仰向けで足を15~30cm高くする。

吐き気、おう吐がある場合



おう吐物による窒息を防ぐため、体と顔を横におく。

呼吸が苦しく仰向けになれない場合



呼吸を楽にするため、上半身を少し起こし、後ろに寄りかからせる。